

インドネシアの大学生で構成される『劇団en塾』。

学業と劇団活動を両立させながら日本語劇の練習に励む皆さんが、2020年に東日本大震災のあった東北での公演を目指し、2015年から毎年桜の時期に日本公演を実施しています。2015年の九州公演から毎年北上していく「桜前線プロジェクト」。2016年4月に実施された広島公演に向けて、当協会も後援団体の一つとして、様々な支援を実施しました。

当協会講演会でのPR実施 2016年3月2日(水)

劇団en塾広島公演実行委員長を務め、1年間現地での居住経験もある広島経済大学 助教 貴名 貴洋様を講師に迎え、ホテルグランヴィア広島において、「インドネシアにおけるODA視察と、居住経験からみるインドネシアの生活・文化・社会」と題して、ご講演をいただきました。



〈ご講演要旨〉

先般、JICA主催の「国際協力レポーター2015」の団長として、インドネシアへ視察に行っていました。これは実際にODAや国際協力の現状を視察し、その内容を広く国民に伝えていくことを目的としたものです。

青年海外協力隊が活動する教育現場では、日本の授業方法の紹介などを行っており、私たちは友人のつてを頼りに約50kg分の絵本を集め持参いたしました。現地で大学生が訳し、小学生がとても喜んで活用しています。また、マカッサル州ではゴミ銀行というシステムを導入し、町内会に通帳を配布、ゴミをたくさん出したらお金がもらえるというシステムにより、環境問題の改善と町内会収入増の一役を担っていました。市民警察活動全国展開プロジェクトでは、市民が親しみやすいようにと、日本の交番制度が導入されました。日本の警察庁の技術指導により鑑識の技術も伝えられています。

ODAの現場では、貧困削減地方インフラ開発事業において、村落の方の要望により給水施設や農業用かんがい用水を導入。ジャカルタ都市高速鉄道事業では、交通渋滞緩和を目的に、市内中心部を貫通する道路沿いに高速鉄道を建設中

でした。また、急速な都市化による地下水の汲み上げで地盤沈下が進んでいるため、洪水対策で排水機場の改修が行われていました。

日本からの国際支援については、技術力の面では比較的高いものの、それ以外の支出純額などは先進国の中では低水準となっているのが現状です。国際協力や開発支援は今や各国の競争社会に入ってきていると考えられます。日本とインドネシアは戦略的パートナーシップを2国間で結ぶ最重要の国と言われています。私たち日本人は、もっと相手のことを知り、お互いの理解を深めていくことが大切なのではないでしょうか。

インドネシアの方は日本を理解しようと、こよなく努めてくださっています。そのことがとてもよく顕れているある曲を、最後にご紹介いたします。それは、劇団en塾の「桜よ」という曲。東日本大震災の応援歌としてインドネシアで作られた曲で、500人のインドネシア大学生が歌っています。2013年に安倍総理がインドネシアを訪れた際にも披露された歌です。この歌をぜひ多くの方に知っていただき、彼らの日本への想いを感じていただきたいと思います。

広島県知事・広島市長 表敬訪問 2016年3月30日(水)・31日(木)



湯崎知事を囲んで、en塾のポーズ



松井市長を囲んで

田村協会長が劇団en塾広島公演の特別顧問として、劇団員の方々と共に湯崎知事、松井市長を表敬訪問いたしました。

広島公演 2016年4月2日(土)

「時代検証アプリ192～伊國～」がアステールプラザ中ホールにて上演されました。

厳しい練習を積んだ日本語のセリフや歌は完成度も高く、彼らの心がこもった演技は感動的でした。会場を埋め尽くしたお客様による拍手喝采の中、田村協会長が主演の学生に花束を贈呈しました。



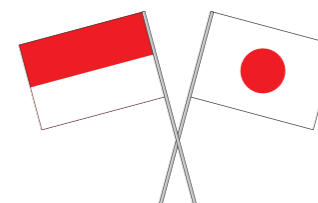
誠実な演技に心打たれます



主演のアグスティアさんに花束贈呈

劇団en塾2017年度公演「蓮池伝説～The Legend of Lotus」は2017年3月31日(金)東京、4月5日(水)愛媛にて開催されます。

# 広島インドネシア協会会報



第27号  
2017年 3月発行

編集・発行  
広島インドネシア協会 事務局  
広島ガス株総務部広報環境室内  
〒734-8555  
広島市南区皆実町2-7-1  
TEL (082) 252-3000

## 総会

2016年6月7日(火)



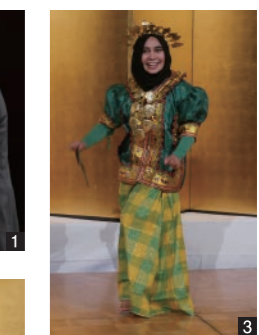
総会の様子

2016年度総会・交流会をANAクラウンプラザホテル広島において開催し、在大阪インドネシア共和国総領事館ウイスヌ・エディ・プラティグニョ総領事をはじめとする来賓の方々をお迎えし、204名の方々にご出席いただきました。

交流会では、看護師の国家試験に合格されたヘスティさんへ花束の贈呈や、インドネシア留学生による踊りが披露されました。ちょうどこの日はラマダンの期間中であったため、インドネシアのムスリムの方々は日没時間の19:30を過ぎてようやく飲食を楽しまれました。



来賓の皆さまと



1ヘスティさんへ田村協会長から花束贈呈  
2介護福祉士を目指す3名の方にもメールを送りました  
3スチさんによる踊り



## インドネシアフェア2016

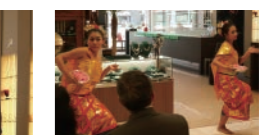
2016年8月9日(火)～15日(月)

広島三越において「インドネシアフェア2016」が開催され、田村協会長が開場式に出席、テープカットを行いました。

開場式では、在大阪インドネシア共和国総領事館ウイスヌ・エディ・プラティグニョ総領事、インドネシア貿易振興センター長ホットミダ・プルバ氏によるご挨拶に続き、留学生によるバリ舞踊が披露され、開店とともにフェアが開幕しました。会場では、ジャワの伝統的な染色が施されたバティックや、シルバージュエリー、洗練されたデザインのバッグなどが並び、期間中、多くの来場者で賑わいました。



開店前のセレモニーにてテープカット



艶やかなバリ舞踊



バティックやバッグがずらり

## 独立記念祭

2016年8月30日(火)

インドネシア共和国の独立71周年を祝う記念祭をシェラトングランドホテル広島において開催しました。在大阪インドネシア共和国総領事館ウィスヌ・エディ・プラティグニョ総領事、ヘリ・ラクソノ・マルヤディ領事をはじめとする来賓の方々を迎え、約180名の方々にご参加いただきました。

記念祭では、小中学生のメンバーからなる「海田鼓童子 WADAIKO凜華」のメンバーによる篠笛と太鼓の演奏、インドネシア留学生によるプレートダンスが披露されました。また、日本けん玉協会の砂原 宏幸様と小学3年生の松富 裕輝くんによる高度なけん玉の技が披露されると、会場からは歓声があがっていました。留学生もステージに上がりけん玉に挑戦するなど、皆様に大いに楽しんでいただけた会となりました。



来賓の皆様



お祭りにふさわしい力強い演奏でした



留学生によるプレートダンス



難易度の高い技を次々に披露



技が決まる度、大歓声があがりました



留学生もけん玉にチャレンジ!



帰国留学生からのご挨拶

## インドネシア料理を楽しむ会

2016年11月29日(火)



「インドネシア料理を楽しむ会」を今年度もインドネシア料理店ワルン・マタハリにて開催しました。3回目となる今回のイベントも、応募開始から1週間で定員を超えるお申込みがありました。イ・ワヤン・スラスナさんが腕によりをかけて作られた料理を前に会話も弾み、インドネシアを紹介するクイズで盛り上がるなど、参加者の皆様に食を通じてインドネシアの文化をお楽しみいただきました。

## インドネシア語講座

2016年9月6日(火)～11月22日(火)

今年度も広島市留学生会館において毎週火曜日にインドネシア語講座を開催し、アフマッド・イーサン先生のもとで、楽しくインドネシア語を学びました。インドネシア語にご興味のある方は、当協会事務局までお知らせください。

## 講演会

2017年2月8日(水)

ホテルセンチュリー21広島において講演会・交流会を開催し、約180名の方々にご出席いただきました。

講演会では、株式会社 二宮 代表取締役社長 二宮 伸介様を講師に迎え、「拡大するハラール市場 ～インドネシア ムスリム文化を知る～」という演題でご講演をいただきました。その後の交流会ではインドネシア留学生による舞踊や、帰国留学生への記念品贈呈が行われ、温かい雰囲気にも包まれた交流会となりました。



交流会には多くの留学生にご参加いただきました

### 〈ご講演要旨〉



私は2002年からハラール食品専門で輸入製造卸を開始しました。当時はまだハラールといっても誰も知らないような状況でした。現在、イスラーム教徒の人口は約20億8千万人で、世界の3.5人に1人はイスラーム教徒です。1位はインドネシアで2億2千万人、中国でも約2千万人のイスラーム教徒が暮らしています。一方、日本ではたった18万人だけ。イスラーム教徒がこんなに少ない国はどこを探してもありません。日本はイスラーム教徒に対する知識に乏しい国ですが、現在ASEAN諸国からの訪日客は増えてきており、ハラールの需要がますます高まっている状況にあります。

イスラーム教は約1400年前に、預言者ムハムドがアッラー(神)からの啓示を受けて始まったもので、この啓示をまとめたものがクルアーン(コーラン)です。イスラーム教徒はクルアーンの中にある6信5行(6つの信仰箇条と5つの信仰行為)を必ず守らなければなりません。彼らは、1日5回のお祈りが義務づけられており、メッカにあるカアバ神殿の方角に向かってお祈りをします。また、イスラーム暦の9月1日から29日までの期間はラマダン(断食月)であり、日の出から日没まで一切飲食やタバコ等を我慢しなければなりません。日没後に家族そろって食事をするのが一般的です。

断食明けのお祝いは、日本のお正月と全く一緒で、家族や親戚が集まって料理と一緒に食べます。ちまきその他、豪華な料理が並びます。ホテルやレストランの方は、ぜひイスラーム暦の10月1日には断食明けのお祝いカードをレストランの入り口に貼っていただくと、ムスリムには非常に喜ばれます。可能なら、ハラールで断食明けお祝いに対応するメニューがあれば多くの利用があると思います。

### ■ハラールについて

ハラールとは、合法的なこと、つまりアッラーが禁止したものではないということです。逆に、非合法のものはハラーム(豚肉とその副産物、肉食動物、爬虫類と昆虫類、イスラーム法に従って屠殺されていないお肉など)です。豚といっても、豚由来のものは食品の他、薬や化粧品など様々なところに使われていますので気を付けなければなりません。

ハラールの認証機関は世界中で様々ありますが、日本では昔から宗教法人日本ムスリム協会が認証を行っています。

現在、日本ではいろんな認証団体が出てきており、そのことが問題にもなっています。宗教法人日本ムスリム協会は世界ハラール協議会における唯一の日本のメンバーですから、この協会の認証であれば、海外のどこでもハラール製品として受け入れられます。ハラール認証を取得するにはとても大変で、例えば、ハラールのお肉(メッカに動物の頭と体に向けてコーランを唱えながら第三頸椎あたりにナイフを入れ屠殺されたもの)であっても、卸店でハラール専用機材以外でカッター、ミンチされたものはハラール性がなくなります。また、砂糖は製造する際、脱色時に骨炭塔が使われますが、それは大体牛の骨です。ですが日本ではハラール牛の骨炭塔はありません。従って、そういった砂糖は使えません。また、運搬の際に、豚肉と一緒にハラールのものを運ぶのもダメです。このように、ハラール認証を取得するためには、ありとあらゆるハードルを越えていかなければならないのです。

通常のホテルやレストランでは、なるべく材料がハラールのものを使うと安心です。加工していない野菜や魚介類はすべてハラールですから、何を使っても構いません。包丁やまな板はハラール専用のものを用意していただいたほうがよいですが、冷蔵庫・冷凍庫に関しては、専用のものが持てなければ、冷凍庫の下の部分だけハラールを入れる等場所を決めていただくなど、各キッチンでガイドラインを作ることが大切です。店頭には「調理器具包丁フライパンはハラール専用に分けています」「ハラールミートを使っています」「砂糖、油、小麦粉など一部ハラール製品以外を使っています」など、正直に表示することが大事です。

日本ハラール協会(日本ムスリム協会の他に信用できる組織)では、ハラール調理師認定講習を実施しています。認定資格を取得すれば、店舗にハラール調理師在席レストラン・ホテルと表示することができます。ムスリムの方はムスリムの調理人が作った料理は安心して食べますので、ホテルやレストランの方にとっては非常に役に立つのではないのでしょうか。

現在、ハラール食材に関しては、和洋中の食材がほぼ揃ってききましたので様々な料理をハラール食材で作ることができるようになりました。ただ、メニュー作りの際に外してはいけないのはエスニック料理です。インドネシア料理の代表的なナシゴレンやミーゴレンもいいのですが、ぜひアヤムゴレンやオポーラアヤムなど、バラエティに富んだメニューもご用意ください。